

道産トウモロコシの安定供給に基づく高付加価値畜産物生産技術の開発

【分野】	畜産・酪農
【公募研究課題】	(1) 国産飼料の利用による畜産経営体の収益力向上技術の開発 ア) 国産濃厚飼料等の自給飼料の活用による畜産経営体の収益力向上技術の開発
【研究代表機関】	(研) 農研機構北海道農業研究センター（経営体（道産飼料）コンソーシアム）
【参画研究機関】	(研) 農研機構東北農業研究センター・畜産研究部門、（地独）道総研畜産試験場、 （株）共成レンテム、よつ葉乳業（株）、（株）塚原牧場、（国）北海道大学、 （有）ジェネシス美瑛
（普及担当機関）	北海道胆振農業改良普及センター、十勝農業改良普及センター、ホクレン農業協同組合連合会
【研究・実証地区】	北海道上川郡美瑛町・中標津郡中標津町・帯広市川西・安平町・石狩市厚田・幕別町忠類 河西群芽室町

I 地域戦略と研究の背景・課題

1. 地域戦略の概要

イアコーンサイレージ（ECS）等高品質自給飼料を利用した道産畜産物の高付加価値化により、海外産の畜産物との差別化を図るとともに、道産畜産物（牛乳、乳製品、牛肉、豚肉等）の販売拡大によって、生産者および地域経済を活性化する。

2. 研究の背景・課題

北海道の畜産経営では、担い手不足、飼料費等生産コストの上昇の課題を抱えており、イアコーンサイレージ等の自給飼料生産利用体系の高度化・低コスト化が求められている。また、北海道の農畜産物は多くが一次産品として国内外に出荷されているが、今後加工販売まで行う6次産業化等の取り組みを推進し、道産畜産物の付加価値を高め、競争力を強化する必要がある。

II 研究の目標

1. イアコーンサイレージの生産コスト1割削減
2. TMRセンター利用家族酪農経営において、飼料費削減、増頭、個体乳量増等による収益性2割向上
3. 耕畜連携体系等による生産拡大でイアコーンサイレージの普及面積を現在の2倍に拡大
4. イアコーンサイレージ等国産NonGMO（非遺伝子組み換え）飼料給与による道産畜産物の差別化方策と販売戦略の提示

III 研究計画の概要

1. 北海道における外部支援組織利用による持続的家族経営型酪農体系の実証
TMRセンター等を利用して飼料自給率向上と乳生産性向上を両立する高品質乳生産体系を実証する。
 - (1) 地域別イアコーンサイレージ等高品質自給飼料の低コスト生産と通年給与の実証
 - (2) イアコーンサイレージ等道産濃厚飼料給与による牛乳・乳製品の品質評価に基づく差別化および販売拡大戦略の提示
 - (3) 道産飼料100%でのおいしい牛乳生産技術の開発
2. イアコーン等道産トウモロコシ給与による道産牛肉・豚肉の差別化技術の開発と実証
 - (1) 肥育用家畜向け道産濃厚飼料の安定供給技術の開発と実証
雌穂利用トウモロコシ等省力作物導入による省力的畑輪作体系を提示し、イアコーンサイレージ流通システムを開発する。
 - ①ダブルローナタネ等自給濃厚飼料用作物の低コスト生産技術の実証
 - ②イアコーンサイレージ等道産濃厚飼料流通システムの実証
 - (2) イアコーンサイレージ給与による道産牛肉のバリューチェーンの構築
イアコーンサイレージ給与による道産牛肉の効率的生産技術を実証し、高付加価値化に向け加工・流通販売体系を構築する。
 - ①肉用牛の生育ステージ別イアコーンサイレージの効率的給与技術の実証
 - ②道産牛肉の高付加価値化に向けた加工、流通、販売体系の構築
 - (3) 豚に対するイアコーン由来発酵トウモロコシのリキッドフィーディング体系と生産豚肉の高付加価値化技術の開発・実証
リキッドフィーディングにおける道産トウモロコシ給餌方法を開発し、望来豚のブランド力を強化する。
 - ①リキッドフィーディング体系へのイアコーン由来発酵トウモロコシの導入技術の開発実証
 - ②ブランド豚「望来豚」の高付加価値化に向けた加工・流通・販売体系の構築
3. マニュアルの作成
4. 普及支援

道産トウモロコシの安定供給に基づく高付加価値畜産物生産技術の開発 道産トウモロコシ利用による畜産物の差別化と資源と経営を持続する家畜生産体系を実証する。

研究項目の構成と担当機関

1. 北海道における外部支援組織利用による持続的家族経営型酪農体系の実証
(担当機関: 北農研、よつ葉乳業(株)、北大、(有)ジェネシス美瑛)

2. アイコーン等道産トウモロコシ給与による道産牛肉・豚肉の差別化技術の開発と実証
(担当機関: 北農研、東北農研、畜産研究部門、道総研畜試、(株)共成レンテム、(株)塚原牧場、北海道チクレン農業協同組合連合会)

① 家族経営型酪農体系

② 肥育家畜生産体系



3. 道産トウモロコシ生産利用マニュアルの作成 (担当機関: 北農研)

地域戦略実現に向けた開発する個別技術と普及体制

高品質自給飼料の長期給与技術実証

リキッドフィーディング (肥育豚)



TMR (酪農)



6次産業化
マーケティング戦略

差別化 販売

“道産畜産物の高付加価値化と販路拡大”



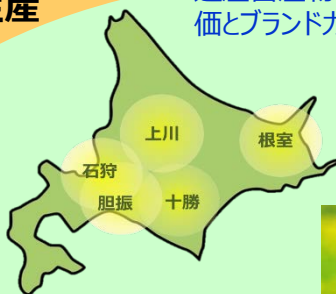
地域戦略の実現
経営体の収益性向上

乳・肉生産

道産畜産物の品質評価とブランド力強化



流通体系



ダブルローナタネ & トウモロコシの導入
有機物(堆肥 & 残さ)の圃場還元

アイコーンサイレージの生産・流通管理システム

安定生産技術

アイコーンサイレージ 管理履歴 (追跡)

ID	生産者	出荷日	生産量
1	500	2015.10.10	ABC
2	515	2015.10.10	ABC
3	530	2015.10.10	ABC
...
94	490	2015.10.10	ABC

生産履歴

生産者	品種	品種	平均重量	産数	総重量
ABC	ABR	P002	915	95	48,125
DEF	ART	クノリス30	882	98	51,156

アイコーンサイレージと、車庫、収穫日等のデータ(帳票)が繋がります。

パノコでデータ管理 & 管理業務印刷

製品管理
フルで製品管理